

23. 小児外科（選択）

1. 一般目標（G I O）

将来の専門性にかかわらず、小児外科の必要な基本的診療能力を身につけ、人格を涵養するのを目的とする。

2. 具体的目標（S B O s）

- (1) 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる（EBM=Evidence Based Medicine の実践ができる）。
- (2) 症例呈示と討論ができる。
- (3) 医の倫理・生命倫理について理解し、適切に行動できる。
- (4) 患者・家族への適切な指示、指導ができる。
- (5) 腹部の診察（直腸診を含む）ができ、記載できる。
- (6) 小児の診察（生理的所見と病的所見の鑑別を含む）ができ、記載できる。
- (7) 病態と臨床経過を把握し、医療面接と身体診察から得られた情報をもとに必要な検査を自ら実施し（適応の判断ができ）、結果を解釈できる。
- (8) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）を実施できる。
- (9) 採血法（静脈血、動脈血）を実施できる。
- (10) 穿刺法（胸腔、腹腔）を実施できる。
- (11) 導尿法を実施できる。
- (12) ドレーン・チューブ類の管理ができる。
- (13) 胃管の挿入と管理ができる。
- (14) 皮膚縫合法を実施できる。
- (15) 軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる。
- (16) 基本的な輸液ができる。
- (17) 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる。

3. 方略

- (1) O J T（病棟回診、手術助手、外来処置）
- (2) 他科小児手術の見学
(小児心臓血管外科、小児脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻科)
- (3) カンファレンス（病棟・外来・術前カンファレンス）
- (4) クルズ
- (5) 抄読会
- (6) 学会（千葉大学大学院小児外科関連病院カンファレンス、千葉大学大学院小児外科例会、日本小児外科学会関東甲信越地方会、日本小児外科学会学術集会）への参加

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:25～	回診	回診	回診	回診	回診
9:00～	手術	外来	手術	外来	手術

午後	外来	検査	手術	検査	カンファ・抄読会・クルズス
15:30～	回診	回診	回診	回診	回診

4. 評価

- (1) 形成的評価：口答試験、実地試験、観察記録による評価
- (2) 総括的評価：EPOC2 による評価